

November 2023



Study abroad report

University of Findlay



Aoi Iwasaki

November

みなさんこんにちは。

11月はあと2ヶ月で帰る寂しさと焦りを感じながら風のように過ぎ去っていきました。それほど充実した月になりました。

街もクリスマス色に染まり始めた11月の様子をお届けしたいと思います。

Choir Concert



11月、いや、留学生活のハイライトは間違いなくコーラスのコンサートです。私は中学校時代にコーラス部に所属していて歌うことが大好きなので、留学前からコーラスに入ると決めていました。練習は週に2日1時間半ずつです。指揮の先生は韓国の方で、韓国人の奥様がピアノで伴奏を弾いてくれます。もちろん歌詞は日本語ではなく英語です。日本語は必ず母音で終わりますが、英語はs,mなど子音で終わる言葉がたくさんあります。これが歌になると本当に難しいです。切るタイミングがわかりません。練習を進めるごとにコーラス部魂でもっと極めたい気持ちが芽生えてきますが、限られた時間の中なので仕方ありません。本番数週間前はこのままでコンサートで歌えるのかと心配になるくらい、音程も歌詞も覚えきれていませんでしたが、直前でなんとか形にできました。教会で歌えるなんて本当に貴重な経験です。舞台から見た景色は圧巻でした。私の走馬灯のひとつになりそうです。フィンドレーで知り合った友達がたくさん見に来てくれたのも感慨深かったです。ネ

イティブの友達と日本人の友達がお花を差し入れてくれたおかげでかわいい写真が撮れました。一生の思い出です。次はクリスマス前に教会でキャロルを歌わせてもらうことになっているので、毎週日曜日に練習しているところです。その話はまた次回♪



w/ friends



w/ Dr. Jung

Cultural Connection

日本人の先生が担当してくださっている授業に、Cultural Connectionという授業があります。この授業を通して多くの学校や高齢者施設を訪問しました。11月はギフトドと呼ばれる優秀な小学生たちと一緒にアクティビティをする活動、図書館で子どもたちに日本文化を教える活動、高校生に日本史を教える活動をしました。こうして振り返るとこんなにたくさんの活動をしてきたのだと気付かされます。全て、アメリカでしかできない体験だったのでこの授業を受けていてよかったと心から思います。

-Hancock County Gifted Program-



ギフトドと呼ばれる優秀な子どもたちと一緒にカルタと書道をしました。私はカルタの担当で、基本的にずっとカルタをしていたのですが、一日かけて8グループに同じアクティビティをしたので頭がおかしくなりそうでした。カルタは五十音ではなくアルファベットのものを使いながら日本のルールのまま遊びました。ルールを理解するとどんどん白熱した戦いが繰り広げられていきます。日本の子どもたちと同じように喧嘩になりそうな場面も何度かありました。そんな時は上手く場を納めながら進めていきます。そのくらい楽しんでくれたようだったので私は大満足です。書道はお手本を基に子どもたちが好きなように書いていきます。日本人は文字には書き順があって、上から下、左から右に書くことを知っていますが、アメリカ人の彼らはもちろんそんなこと知りません。私たち日本人からすると驚く順番で書いていきます。日本語に馴染みのない彼らにとって、画数の多い漢字は興味深いようで、進んで難しい漢字に挑戦していました。新たな発見がたくさんあってとても有意義な時間でした。

-Findlay Hancock County Public Library-



図書館で地域の子どもたちと交流しました。日本について紹介した後、折り紙やお箸の持ち方の練習、カルタをして遊びました。折り紙はかなり人気です。子どもたちは自分のおりたいものをリクエストしてくれるのですが、私が折り方を知らないものもあったので困りました。小さい時にもっと折り紙をマスターしておくべきだったと思いました。

-Cultural exchange with high school student-

半期を通して高校生と文化交流をしました。前回の報告書にも書いたように、日本食を振る舞ったりお互いの文化について紹介し合いました。最後の回にはクッキーのデコレーションを一緒にしました。私たちにとってよい経験になったのはもちろんですが、ペアの子にとっても良い学びになり、日本や海外に興味を持つきっかけになってくれたら嬉しいです。



Genki Kids

日本人の先生が教えてくださっている授業に元気キッズという授業があります。これはアメリカ人の小学生に日本語や日本の文化を教える授業です。10月から子どもたちと一緒にアクティビティを毎週行い、11月にファミリーナイトと呼ばれる、日本で言う授業参観のような特別な回を経てついに終わりを迎えました。準備しなければならないことが多く、毎週かなり大変でしたが、子どもたちの可愛さでそんな気持ちは吹っ飛びます。子どもたちも初めは緊張している様子でしたが、慣れてくると少しずつ心を開いてくれます。そして今度は逆に収集がつかなくなっていくます。私のペアの女の子は姉妹で参加していて、隣同士で座っていたので度々争いが勃発しました。英語でどのように止めればいいのかかわからず、あたふたすることもありましたが、楽しんでくれていたようだったのでよかったです。毎回授業の最初に日本語で「チューリップ」を歌う練習をしました。数回やると子どもたちも覚え始め歌詞を見ずに歌えるようになります。ファミリーナイトでは子どもたちが親の前でこの歌を披露しました。みんなとても上手に歌えていました。アクティビティは毎回異なります。Greetingsの回では日本語で自己紹介をする練習をしました。英語を話す人には難しい発音のようです「よろしくお願ひします」というのがとても難しいようで、子どもたちも苦戦していました。私はボディパーツの担当だったので、スライドを作って体の部位の日本語を教えました。その後「あたまかたひざポン」の歌に合わせて練習します。歌のおねえさんの気分で頑張りました。教師を目指す私にとって学ぶことの多い活動でした。いつか元気キッズで出会った子どもたちと再会する日が来ることを夢見て、私も精進していこうと思います。

- Greetings
- Days of the
- Katakana
- Body
- Animal sound
- Family members



Farewell Party



11月の最後にお別れ会がありました。半期で帰る人はスピーチをしなければなりません。私はしっかり原稿を考えていきましたが、想像以上に多くの人があいて緊張してしまったおかげで頭が真っ白になりました。本当はもっと言いたいことがたくさんあったのですが、かなり早く終わってしまいました。伝えきれなかった分の感謝はこれから伝えていきたいと思っています。他の半期の人たちのスピーチを聞いていると、他人事ながら成長したなと思いました。自分の成長は自分では全くわかりませんが、私も成長していることを祈ります。スピーチの後は写真大会です。集合

写真を見るとこんなにたくさんの友達ができたのだと実感します。来たばかりの頃は躍起になってたくさんの人に声をかけていたことを思い出します。あの頃の頑張りがあったからこそ、フェアウェルパーティーに呼べる人がたくさんいるのだと思うと感慨深いです。ここにいる人たちのおかげで私の留学生活は充実したものになりました。感謝してもしきれません。

Thanksgiving

11月のビッグイベントはやはり、サンクスギビングです。こんな偉そうに書き始めていますが、サンクスギビングについて知ったのはアメリカに来てしばらく経ってからでした。私のアメリカの知識は映画やテレビで得たものがほとんどなのですが、サンクスギビングについてはこれまで全く聞いたことがありませんでした。クリスマスの映画はあるのにサンクスギビングの映画がないことを疑問に感じるほど、アメリカでは欠かせない祝日です。



私はハウスメイトに誘ってもらいお家に行かせてもらいました。片道2時間ほどかけて、ハウスメイトの実家まで車で連れて行ってくれました。家に入るとワンちゃんたちの手厚いお出迎えを受けました。アメリカは犬や猫を飼っている家庭が本当に多いです。しかも一匹や二匹では収まりません。家族もとても優しくて出会ってすぐにお母さんがハグをしてくれました。ご飯ができるまでアメフトを見て待ちます。いまだにアメフトのルールがわかっていない私はどちらを応援すればいいかわからないまま見ていました。サンクスギビングの日はアメフトを見るか、ニューヨークのパレードを見るのが定番らしいです。ハウスメイトのお友達家族がたくさん来て、ついにご飯の時間です。サンクスギビングの時に食べるものは大体どこの家庭も同じです。日本でいうおせちのようなものです。どれも本当に美味しかったです。私のお気に入りターキーです。日本でターキーを食べる機会はありませんでしたが、アメリカではチキン、ビーフ、ポークに並ぶくらいよく食べます。

そして美味しいです。ご飯を食べた後はみんなでゲーム！日本でカードゲームといったらUNOやトランプがほとんどですが、私はアメリカに来て未知のカードゲームにたくさん出会いました。アメリカ人はゲームが大好きです。今回やったゲーは少し難しく、正直最後までルールが曖昧なままでしたが、楽しかったのでオールオッケーです。アメリカの家庭の暖かさに触れた1日でした。旅行では経験できない、留学に来たからこそできた経験です。



MENU

- ・ターキー
- ・グレービーソース
- ・マッシュポテト
- ・グリーンビーンキャセロール
- ・クランベリーソース
- ・アップルパイ
- ・パンプキンパイ



Christmas

フィンドレーにもクリスマスがやってきました。ハロウィンが終わると同時に、街はク瞬く間にクリスマス色に染まっていきます。私は映画で見るアメリカのクリスマスの世界に憧れて、アメリカを留学先にしたと言っても過言ではないくらいクリスマスを楽しみにしていたので、ワクワクが止まりません。アメリカの人からすると、クリスマスは宗教的なイベントで家族と過ごす日です。この文化の違いもとても面白いです。ネイティブの友達に誘われて、クリスマスパレードを見にいきました。キラキラに輝くライトをまとった、さまざまなフロートが通っていきます。多くの人が見にきていて、アメリカのクリスマスの本気を感じました。フィンドレーで見たハロウィンパレードとは大違いです。クリスマスの点灯も見られて幸せでした。クリスマスの詳しい様子はまだ12月にとっておこうと思います。



Daily Life



11月は本当に盛りだくさんで忙しい月でした。少し体調崩した時期もありましたが、全力で駆け抜けました。ここ数ヶ月は日曜日に教会に行くのが習慣です。初めは宗教に興味を持って訪れたことがきっかけだったのですが、気づいたら習慣になっていました。アメリカに来て宗教に触れる機会がたくさんあります。特にクリスチャンの人が多いためキリスト教に関する知識はここに来てかなり身につきました。教会で出会う人たちはとても暖かくて大好きです。優しく声をかけてくれます。教会での出会いも留学生生活を豊かにしてくれました。日本に帰ったらもっと宗教の勉強をしようと思心に誓っています。11月はみんなで映画を見ること多い月でもありました。スパイダーマンやハリーポッターを見ました。映画を見ながら私はこの映画の中の

世界にずっと憧れていたんだと思い出させられました。自分が映画の中の世界に身を置いていることを再認識しました。私ってなんて幸せなんでしょう。英語を勉強することに集中できる環境があることは、英語に勉強が楽しくてしかたなかった高校生の頃の私にきっと羨ましがられます。でも、実際は異国の地で言葉も文化も生活も何もかも違う環境の中で暮らすことが何よりも難しいです。言語習得の観点から言うと、半年は短すぎます。せっかくアメリカでの生活に慣れてきたころにはもう授業が終盤に向かっていきます。正直、もっと頑張りたかったという後悔はあります。日本語を話しすぎたと反省しています。でも、この経験は間違いなく私を大きく成長させてくれました。最初の2ヶ月はアメリカの生活に慣れることで精いっぱい、泣かずに日々を送っているだけで自分を褒めたいくらいでした。それも2、3ヶ月経てば慣れます。人間の環境適応能力は侮れません。もちろん周囲の人々や環境に恵まれたからでもあります。終わっていく授業や、別れが悲しいのはそれだけ充実したものだったからです。この環境と出会いに感謝です。12月の初週には授業が終わるので、その後は旅行に行こうと計画しています。帰国まで残り1ヶ月でできる限りたくさんの思い出を作っていきます。そしてお世話になった人たちに感謝の気持ちを伝えてから日本に帰りたと思います。この報告書を書くのもあと一回です。次回はアメリカのクリスマスの様子をたくさんお届けしたいと思っています。

